

ビッグサイエンスセミナー

宇宙の未来を、 誰が作る？

市民と研究者で考える
「ビッグサイエンス」のこれから

宇宙を探るための科学は、いま巨大化しています。
巨額の予算、世界中の研究者、そして何十年にもわたる計画。
そんな「ビッグサイエンス」は、私たちの暮らしや社会と
どうかかわっているのでしょうか？
3回のセミナーを通して、市民と研究者が一緒に考えます。

一緒に考えよう、
宇宙と私たちの未来を。

参加無料

現地参加は
申込不要
オンライン参加は
事前申込制

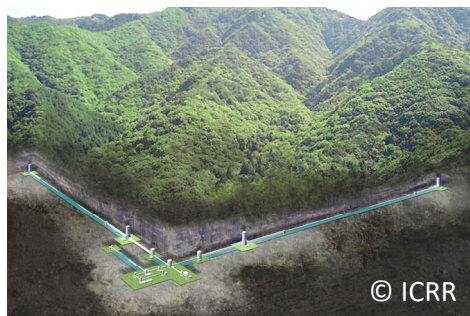
各回 13:00~14:30
(受付開始 12:30)



© Amir H. Abolfath (TWAN)

第1回

11/14 土
13:00~14:30



© ICRR

大型低温重力波望遠鏡
(KAGRA)



宮川 治 氏
東京大学宇宙線研究所

岐阜県神岡の地下に建設された大型重力波望遠鏡。ブラックホールや中性子星の合体などから届く重力波をとらえ、宇宙の謎に迫ります。

第2回

11/28 土
13:00~14:30



© NAOJ

Thirty Meter Telescope
(TMT) 計画

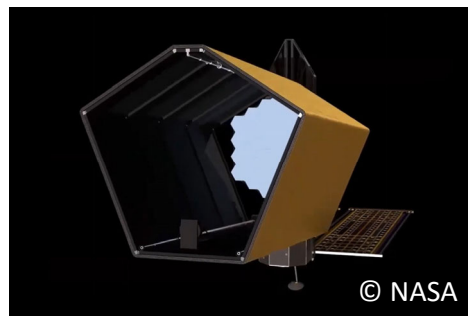


臼田 知史 氏
国立天文台

直径30メートルの巨大な鏡をもつ次世代望遠鏡。遠い宇宙の銀河や太陽系外惑星などを観測し、宇宙の誕生と進化の謎に迫ります。

第3回

12/12 土
13:00~14:30



© NASA

Habitable Worlds Observatory
(HWO) 計画



住 貴宏 氏
大阪大学

地球に似た惑星を直接観測する次世代の大型宇宙望遠鏡。その大気を詳しく調べ、私たち以外の生命が存在する可能性を探ります。

このセミナーで
考えること



「大きな科学」は、私たちに何をもたらすのか？



どれくらい
お金が必要なの？



なぜ、これほど
巨大な施設が
必要なの？

何十年もかかる研究を、
誰が支えるの？



そして、私たちはその未来
をどう考えればいいの？



セミナー前後に
アンケートを実施し、
皆様のご意見や意識の
変化をお聞きます。

日 時

2026年 11月14日(土)、28日(土)、12月12日(土) (1回のみのご参加も可能です)

場 所

信州大学 松本キャンパス 東洋計器講義室(20番講義室) 公共交通機関、またはキャンパス周辺の
有料駐車場をご利用ください。

開催形式

現地参加(申込不要;最大250名)および オンライン参加(事前申込制)

主 催

信州大学 全学教育センター/理学部 観測天文学研究室

共 催

松本市教育委員会、信州大学 全学教育センター・理学部

後 援

日本天文学会、日本天文教育普及研究会、長野県は宇宙県

協 力

天文学普及プロジェクト「天プラ」

お申込み・詳細

<https://sites.google.com/view/big-science-seminar-2026>

お問い合わせ(ビッグサイエンスセミナー世話人)

✉ bigscience-ml@shinshu-u.ac.jp

